

本時のねらい

- ・ICTコンテンツを使用して問題を作成し、解答する過程を通じて既習の学習内容の理解を深めるとともに情報活用能力を育む。

本時で育む主な情報活用能力

B-STEP4, D-STEP4
J-STEP4, L-STEP4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・各班で指定されたコンテンツ（Googleスライド、ロイロノートのテストカード、Kahoot!）を使用して、問題を作成する。
- ・問題作成をするにあたり、デジタルツールの特性を理解した上で適切な情報を収集する。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノートのテストカード
- ・Googleスライド
- ・Googleクラスマート
- ・Kahoot!
- ・Googleスプレッドシート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあて【問題を作成し、内容の理解を深めよう】を確認する。 ・班ごとに使用するICTコンテンツ（Googleスライド、ロイロノートのテストカード、Kahoot!）について説明を聞く。 ・班によって使用するコンテンツが違うため、自分がどのような作業をしていくのかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型モニターを使い、自分が何のコンテンツを使って問題を作成するのかを理解させる。 ・事前にGoogleクラスマートに授業のながれを記入したGoogleフォームやGoogleスライドを送っておいて、スムーズに始めることができるようとする。
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ・各生徒が自分の1人1台端末を使用して、指定されたコンテンツ（Googleスライド、ロイロノートのテストカード、Kahoot!）を使い、既習事項に基づく問題を1問作成。 ・班ごとに、班内のメンバーが作成した問題を解答する。【写真1】 ・班内で意見交換を行い、各問題の良い点や改善点を話し合う。 ・班ごとに意見を集約し、問題を1つ選んでブラッシュアップする。【写真2】 ・各班がブラッシュアップした問題を全体で解答する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各生徒や班のメンバーがリアルタイムで共同編集できるように設定することで、班内の協力が円滑に進む。 ・選んだ問題に追加の情報や視覚的要素を加え、より高品質な問題に仕上げる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で共有しているGoogleスプレッドシートで、自分が作成してみて思ったことや気づいたこと、他の班が違うツールで作った問題を解いてみて思ったことや気づいたことを書きこんでいく。他の人がどのように感じたのかを共有しながら書いていく。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員共有のGoogleスプレッドシートなので他の人がどのように書いたかをみながら書くことができるため、学習が苦手な生徒も書きやすい状況を作ることができます。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】班で作成した問題



【写真2】班で問題を1つ選んでブラッシュアップする様子



【写真3】振り返りで行った共有スプレッドシート

児童生徒の反応や変容

- ・さまざまなコンテンツで作られた問題に触れることで、その特徴をとらえながら問題を作成することができた。
- ・タイムリミットを設定した問題解答や問題作成の過程で、時間を意識しながら効率的に作業を進める力が身につき、生徒たちは、限られた時間内でも最大限の成果を上げるために工夫をしていた。
- ・他の班の問題を解くことで、自分の理解度や知識の不足を客観的に評価する力が身についた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・問題を作成する際に、デジタルツールの特徴を理解し、その目的に基づいた情報収集をすることで、情報活用能力を高めることができた。
- ・多様な視点から作成された問題を解くことで、より深い知識の定着を図ることができた。